

## 人文学部教育・臨床心理学科

学位（教育）プログラム名：教育・臨床心理学

教育学と臨床心理学の理論を理解し、これら二つの分野の統合による人への支援や援助、人間形成とそのケアに貢献しうる総合的、実践的力量的の修得に向け、下記の特徴を持った教育課程を編成する。

全学共通教育については、教育や臨床心理を学ぶ上で、幅広い知識に基づき、人間の心や行動、社会的事象を分析・説明できるようになるため、人文科学・社会科学・自然科学の知識をバランス良く学び、教養を深める。専門教育では、1、2年次のうちに少人数演習科目や学科必修科目を通して、アカデミックスキルズやキャリア形成の基礎知識・技能を修得する。また、2年次からは、卒業後の進路に応じて、公認心理師トラック、キャリアデザイントラック、学校教員トラックに所属する。2年次以降はトラックでの学習を中心にしながら、教育や臨床心理のさまざまな分野に関する知見を広げるとともに、病院や民間企業、学校等でのインターンシップや実習を通して、教育現場や臨床現場を含めた地域社会・組織の課題やその解決に向けた実践力を高める。

以上の内容を保証するため、1、2年次には「基礎演習A・B」、「キャリア形成基礎論Ⅰ・Ⅱ」（必修科目）を通して、アカデミックスキルズの獲得とキャリアに関する基礎的知識の獲得に向けた主体的・対話的で深い学びの場を提供する。3、4年次には「専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」（必修科目）を通して、自らの問題意識・関心に基づき、能動的な学修（文献の精読・発表、現地調査等）を進める場を提供する。また、専門教育科目については、1年次に「教育学概論Ⅰ・Ⅱ」、「心理学概論」、「臨床心理学概論」を必修科目とすることで、初年次から教育学及び臨床心理学の基本的知識を修得する場を提供する。2年次以降は、理論や今日的課題について深く学ぶ科目を配置し、さらに「心理実習」、「インターンシップ実習Ⅰ・Ⅱ」、「キャリアデザイン調査実習Ⅰ・Ⅱ」、「学校インターンシップ実習」等の現場で学びを促進する機会も提供する。

ディプロマ・ポリシーに示された能力の修得状況については、4年間の学習成果が現れる「専門演習Ⅳ」（必修科目）や「卒業研究」（選択科目）により総括的な評価を行う。